

2024年9月10日

河内長野市
南海電気鉄道株式会社
南海バス株式会社

「共創・MaaS 実証プロジェクト～共創モデル実証運行事業～」 の補助金を活用した実証実験を実施します

河内長野市（市長：西野 修平）、南海電気鉄道株式会社（代表取締役社長：岡嶋 信行）、南海バス株式会社（取締役社長：鈴木 一明）では、この度、河内長野市内の公共交通網維持を目指し、国の「共創・MaaS実証プロジェクト～共創モデル実証運行事業～」の補助金を活用した実証実験を実施しますので、お知らせします。

1. 取組背景・課題

鉄道・バス等の地域公共交通を取り巻く状況は、人口減少やマイカー利用の普及など長期的な需要減に加え、昨今の新型コロナウイルスの影響や燃料費等の高騰、また、バス業界においては「2024年問題」による運転手不足など、厳しい状況に置かれており、全国的に公共交通の維持は喫緊の課題となっております。

河内長野市内においても同様であり、今後、地域の関係者が連携・協働する「共創」により、地域公共交通網を維持し、必要に応じて再構築を進めることで新たな価値を生み出し、持続可能性、利便性、生産性を高める必要があります。

そのため、まずはコロナ禍後の移動需要や利用実態等の情報収集を行い、検討を進めるために実証実験を実施します。

2. 事業概要

（1）目的

市内公共交通を有効活用した再編を検討するため、最新の移動需要把握及びデータ収集

（2）実証実験内容

- ①新規ルートでのコミュニティバスの実証運行
- ②鉄道・バス共通デジタル乗車券の導入実験

（3）共創スキーム

- ①実施主体 河内長野市
- ②共創パートナー 南海電気鉄道株式会社、南海バス株式会社、河内長野市社会福祉協議会、道の駅奥河内くろまろの郷（一富士ケータリング株式会社）

3. 実証実験内容

(1) コミュニティバス新規ルートの実証運行

- ①概要 市の新たな賑わい拠点である道の駅や商業地、市役所、鉄道駅、南部団地を結ぶ新ルートでバスの実証運行を実施
- ②名称 モックルコミュニティバス「地域拠点循環バス」
- ③期間 令和6年10月1日(火)～11月29日(金)(60日間)
- ④運賃 大人200円、小人100円(現行モックルコミュニティバスと同額)
- ⑤運行ルート 三日市町駅前～丘の生活拠点(南花台)～地域活性・交流拠点(道の駅「くろまろの郷」)～商業エリア(上原地区)～行政拠点(市役所・図書館等)～河内長野駅前
※道の駅「くろまろの郷」へは平日のみ運行
- ⑥運行数 1日4往復(8便)



(2) 鉄道・バス共通デジタル乗車券の導入実験

- ①概要 河内長野市内の南海電鉄と南海バスが1日乗り放題となるQRコードを活用したデジタル乗車券の実証実験
※鉄道はQRコードを改札機で読み取り、バスは乗務員による目視確認となります
※購入には会員登録が必要です
- ②名称 「河内長野デジタルきっぷ」
- ③期間 令和6年10月1日(火)～11月29日(金)(60日間)
※コミュニティバス実証運行と同時期
※チケット販売期間: 10月1日午前10時～11月29日午前10時
- ④運賃 大人700円、小人350円
- ⑤区間 南海電鉄: 河内長野市内の区間(千代田駅～天見駅間)
南海バス: 河内長野市内路線(コミュニティバス、地域拠点循環バスを含む)



4. お問い合わせ先

(実証実験全般について)

河内長野市 都市計画課 0721-53-1111(平日9:00～17:30)

プレス記事に関するHP: <https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/20/102481.html>

(電車・デジタルきっぷのご利用について)

南海電鉄コールセンター 050-3090-2608(8:00～21:00)

(実証運行以外のバスのご利用について)

南海バス 営業部営業課 072-221-0781(平日9:00～17:30)

以上

<資料提供先> 河南記者クラブ、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

この資料に関するお問い合わせ先

河内長野市 都市計画課 TEL. 0721-53-1111

南海電鉄 総務広報部 TEL. 06-6644-7125